

平成27年度 第1回弘前市廃棄物減量等推進審議会 会議要旨

- 日 時 平成27年7月13日（月）午前10時～
- 場 所 弘前地区環境整備センター 管理棟3階会議室
- 出席者 日景会長、前田委員、阿保委員、安東委員、太田委員、葛西委員、館委員、高野委員、藤田委員、三橋委員、八木橋委員
- 欠席者 一戸委員、川越委員、二本柳委員
（委員14名のうち11名が出席）
- 事務局 浅利都市環境部長、秋元環境管理課長、川村参事、鈴木環境事業所長、福土資源循環係長、吹田総括主査、田沢環境事業係長、齊藤主事、花田上下水道部長、佐藤上下水道部工務課長、棟方上下水道部工務課長補佐

○資 料

- ・次第
- ・【資料1】 計画策定の概要
- ・【資料2】 スケジュール
- ・【資料3】 現状と課題
- ・【資料4】 当市のごみの状況
- ・【資料5】 経営計画での位置づけ
- ・【資料6】 取組指標比較
- ・【資料7】 H27取組実施状況

1 開会

[都市環境部長あいさつ]

2 諮問書の提出

【都市環境部長より会長へ諮問書を提出】

3 会議

【資料について事務局より説明】

【主な質疑】

- ごみの計画についてはいろんな課題があるが、生活排水の方は概ね計画的に進んでいるという理解でよいか。
- 資料3の4ページ、多量排出事業者について、どのような、事業・会社が該当するのか。
- 小型家電について、どのようなものが小型家電になるのか。

○オフィス町内会とは。

○スラグ化とは。

○資料3の5ページ、(4) その他の施策、②の焼却灰等の資源化について、平成24年度まで停止していた灰溶融炉を再稼働したが、また停止した理由は。

○観光地というのは人が集まりやすいが、観光地ゆえの計画策定は考えているか。

【主な意見】

○行政の方でいろいろ発信することでごみ減量化というものは進んでいくのではないのか。

○3Rの中でも発生抑制が最優先である。

○地域の人たちにどのようにごみについて浸透させていけばよいのかが課題。末端の町会でももう少し踏み込んだ取扱いをしていくべき。

○ごみが無料だから何でも出すんじゃないのかなと思う。

○事業所のごみは事業所自らが片づける、処理する、住民が出す生活系のごみは役所が責任を持って片づけるというのが確か法律で決まっているが、そういったことだけではもううまくいかない。自分たちの町は自分たちで、市役所と一緒に良くなっていこうという発想がちょっとでもあると、変わってくると思う。

○市民の意識改革が重要。

○計画を作るだけでなく、絵に描いた餅状態にならないよう、市民にどう徹底させるかが重要。

【平成27年度の事業実施状況について事務局より説明】

4 閉会